

アンデス・アマゾン学会 会誌  
『アンデス・アマゾン研究』 寄稿規定  
(Journal of Andean and Amazonian Studies)

2017年 12月 1日制定  
2019年 7月 6日改訂  
2019年 7月 6日施行  
2022年 12月 10日改訂  
2022年 12月 10日施行  
2023年 6月 20日改訂  
2023年 6月 20日施行

## 1. 本誌について

『アンデス・アマゾン研究』は、アンデス・アマゾン学会の会誌（電子ジャーナル）です。PDFによる発行のため、出版費用は発生しません。投稿料・掲載料等の著者の負担も、一切ありません。査読を経て掲載された論文・論考は、オープンアクセス（CC コモンズ：BY・NC・ND）として Web 上に公開されます。なお本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する学術電子ジャーナルプラットフォーム・J-STAGE に掲載されています。

## 2. 寄稿資格

本学会の会員であれば自由に投稿できます。編集委員会からの依頼により、非会員に寄稿を依頼する場合があります。本寄稿規定ならびに執筆細則・「投稿論文に関する不正行為防止のためのガイドライン」（いずれも本学会ホームページに公開）をご確認の上、投稿して下さい。

## 3. 寄稿条件

本誌に投稿する原稿は、未刊のものに限ります。二重投稿は認められておりません。

## 4. 審査

編集委員会が原則として 2 名の査読者を選定し、査読を依頼します。掲載の採否については、査読結果に基づいて編集委員会が審議します。査読に要する期間は、1～2 カ月程度です。なお、投稿原稿は掲載の採否にかかわらず返却しません。

## 5. 投稿区分と原稿枚数

本誌の投稿区分には、「論文」、「研究ノート」、「書評」があります。執筆言語は、原則として、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語のいずれかとします（これ以外の言語で投稿を希望する場合は、編集委員会にご相談下さい）。字数・枚数（400 字 1 枚計算）の制限は、原則として下記の通りとします。これを超える場合は、編集委員会にご相談下さい。和文論文には和文要旨と欧文要旨を添付して下さい。要旨は枚数制限に含まれません。

### 【和文】

論 文：60,000 字以内（150 枚以内）＋日本語要旨＋欧文要旨  
研究ノート：50,000 字以内（125 枚以内）＋日本語要旨＋欧文要旨  
書 評：12,000 字以内（30 枚以内）

### 【欧文】

論 文：20,000 語以内 ＋要旨 1＋要旨 2

研究ノート：17,000 語以内 + 要旨 1+要旨 2  
書 評：8,000 語以内

(いずれも、本文・脚註、図表・写真、謝辞、参照文献リストを含む。なお英語原稿の場合、要旨 1 は英語、要旨 2 はスペイン語あるいはポルトガル語とする。スペイン語あるいはポルトガル語原稿の場合、要旨 1 は記述言語、要旨 2 は英語とする。)

## 6. 投稿の方法

投稿は、原稿（テンプレート利用）、図・表・写真ともに電子ファイルのみとします。原稿の MS-Word ファイル、原稿の PDF ファイル、図・表・写真ファイル、「投稿カード」を、下記編集委員会 e-mail アドレス宛てに添付して提出・送付して下さい。ファイルの容量が大きい場合は、オンライン・ストレージ等をご利用下さい。原稿には、掲載箇所の確認のために、図・表・写真を挿入して下さい。投稿に際しては、別に定める執筆細則を十分にご確認下さい。なお、テンプレートと「投稿カード」は、本学会ホームページよりダウンロード可能です。

編集委員会 e-mail : janams.editor@gmail.com

## 7. 投稿の受付期間と掲載・発行スケジュール

投稿はいつでも受け付けます。論文・研究ノート共に、査読通過後に完成原稿が提出され、編集を経て校了となり次第、随時掲載（アップロード）します。投稿受付日と掲載日・所収号との関係性は、下記の通りです（西暦は事例）。

2022 年 9 月 21 日～2023 年 9 月 20 日の投稿：

2023 年 1 月～2023 年 12 月 20 日に随時掲載（アップロード）。

2023 年 12 月 20 日発行の『アンデス・アマゾン研究』に所収。

## 8. 抜き刷り

執筆者には PDF を配布します。紙媒体の抜き刷りは作成しません。

## 9. 校正

校正は著者校正とし、掲載決定後の大幅な加筆・修正は原則として認めません。欧文原稿は、必ずネイティブ・チェックを受けた上で提出して下さい。

## 10. その他

本誌掲載の論文等の著作権は、著者およびアンデス・アマゾン学会に帰属するものとし、オープンアクセスのため、著者が、研究者向け SNS 等で、本誌に掲載された自身の論文・論考を共有・掲載・使用する際、本学会の許可を必要としません。

以上